

振興部の 知っところ！神美

知っておいてほしい神美を紹介します。



【立石編 I】

立石の地名

「立石」の地名は、県下では明石市・三原町・西宮市(建石)にあり、それぞれに石にまつわる伝説を伝えている。

当地は山上の大石に由来するとしているが、タテ(立)の語源説は立・館・楯・豎・建・竜・太刀など様々で一概に決めることはできない。

(豊岡の地名 山口久喜著より)

三開山落城秘話 (その3 茶釜)

三開城落城の際に、残兵が茶釜と槍を持って岡本甚右衛門という庄屋の家に立ち寄ってかくまって貰った。そのお礼として茶釜と槍を置いて行ったという。槍はどうなったかわからぬが茶釜は現在も岡本家に伝わっている。

立石 岡本栄蔵 「豊岡民話 耳ぶくろ(昭和 50 年発行)」より



九郎右衛門の家

昔、立石の字下岡四、九、六の位置を占め、一日に塩一俵を使用したという豪族がいた。九郎右衛門といった。

ある日下男に言いつけて金を土中に埋めさせ、そこで下男を殺してしまった。その時、下男は、「朝日さす夕日かがやきて三月つつじの下にあり」と言って死んだ。

それより家運衰えて亡んだという。家の下に大きな札を立てていた。今なお札場という屋号、家は残っている。

神美地区編集 大垣三郎 「豊岡民話 耳ぶくろ(昭和 50 年発行)」より